

第5回京都ジュニアカップ体操競技選手権大会 兼 第29回近畿ジュニア体操競技選手権大会京都府予選会 兼 第7回近畿U-12体操競技選手権大会予選京都府予選会

実施要項

主催 京都体操協会
主管 京都体操協会
共催 各ジュニアクラブ
後援 向日市・向日市教育委員会

1 期 日 平成24年7月28日（金）～7月30日（月）
2 会 場 会 場：向日市民体育館
〒617-0003 京都府向日市森本町小柳23-1 (075) 932-5011

3 参加資格 男女とも6歳以上高校3年生以下で平成24年度の京都体操協会及び
京都ジュニア連盟に登録を完了したものとする。

4 参加クラス
(ア) 参加クラスは年齢に関与せずエントリーできる。
但し、選手の実情に合ったクラスにエントリーすること。
(イ) 女子6級については参加人数が多い場合、更に年齢別に2部門に分けることがある。
詳細は抽選後参加団体宛に連絡される。
(ウ) 10級団体について 1団体2チームまで出場可能（4-4-3）

5 競技種別及び競技規則

6級	本大会改正ルール適用	競技歴の浅い者	別紙資料参照
7級	府民大会ルールを適用	6級より上の自由演技を狙う者	
8級	近畿ジュニア初級規則を適用	近畿Jr初級出場レベル	
9級	日本体操協会変更ルールⅡを適用 近畿ジュニア中級規則を適用	近畿Jr中級出場レベル	
10級	日本体操協会変更ルールⅠを適用	近畿Jr上級出場レベル	

※ 近畿ジュニア出場資格は、男子4種目・女子4種目の合計得点により、上級4名・中級8名・
初級10名に資格を与える。各クラス補欠選手4名とする。

※ U-12の近畿予選会出場者は、男女小学生より強化部が推薦する。

6 競技日程
(ア) 日程の詳細は班別抽選後、連絡します。
(イ) 練習会場日程は抽選後、割り当てます。

7 表 彰 表彰は大会日程の中で行われます。
団体選手権 10級のみ1～3位
個人総合選手権 各クラス1～6位
種目別選手権 各クラス1～6位
ゼッケン賞 男女で30名（6・7級のみ）
エレガント賞 主任審判員が決定（8・9・10級のみ）男女各1名

- 8 参加料 個人1名につき6,000円 団体 24,000円 (上級のみ)
- 9 審判 男女各派遣できない場合は、男女別にそれぞれ5,000円を参加料と共に納入して下さい。
- 10 加盟登録 平成24年の大会・行事に参加希望団体・個人は平成24年4月15日までに団体加盟費10,000円を下記宛に振り込んで下さい。

振込先： 京都銀行 小倉支店
普通口座 3623855
代表者名 嶽山明子 (ダケヤマ アキコ)

11 参加申込

(ア) 京都体操協会HPにWebエントリーによりで申込をおこない、所定の用紙に記入の上、下記宛申し込んで下さい。FAXでも可、参加料は振込みでお願いします。

(イ) エントリー申込期間 平成24年7月1日(日)～7月10日(火) 必着

(ウ) 申込先 〒611-0041 京都府宇治市槇島町中河原94

ジャンピング体操クラブ 嶽山明子

TEL 0774-28-2551

FAX 0774-21-5320

携帯 090-3032-2888 (河合)

参加料振込先： 京都銀行 小倉支店
普通口座 3623855
代表者名 嶽山明子 (ダケヤマ アキコ)

12 傷害保険

参加選手に対し、試合当日から競技終了時までスポーツ傷害保険に加入します。保険料は実行委員会で負担します。障害に対する給付は保険の範囲内とします。

13 監督会議

(ア) 監督・顧問・引率責任者の何れかは監督会議に出席すること。

(イ) 時間・場所等は競技日程が決まり次第、連絡します。

14 その他

(ア) ご父兄の帯同審判・競技補助役員へのご協力を歓迎いたします。

(イ) 大会参加時には必ず受付を済ませてください。

(ウ) 申し込み時に出場者の集合写真を送付してください。プログラムに掲載いたします。

(エ) 6・7級のみゼッケンは各自のアイデアあふれたものを作成してください。

ユニークなゼッケンにはゼッケン賞をおくります。

(オ) 8～10級は縦10cm・横15cm 男子は黒・女子は赤色でお願いします。

(カ) 参加者は大会の会場設営に協力すること。

(キ) 参加者は大会運営にかかわる競技補助役員に協力すること。

(ク) 競技中の負傷などの応急処置は行うが、その後の責任は負わない。

(ケ) 駐車場がないため、応援の保護者は車でのご来場は厳禁。

(迷惑駐車をされた場合、出場を辞退していただく場合もあります。)

京都ジュニアカップ適用ルール（女子）

- 大会の級を6級から10級にわけ、選手はこのうちの1つのクラスにエントリーできる。
- 級は年齢に関与せず参加できる。
- 6級の表彰については年齢、参加者数に応じて2部門に分けることがある。
但し、開催年によって参加者数に変動があるためエントリー終了後、年齢の区切り方を検討し、抽選会後に発表する。（例 4年生以下、5年生以上）
- 各級のルール及び出場の日安は下記の通りとする。

6 級

本連盟改定ルール適用

競技歴の浅い者

段違い平行棒、平均台、ゆかの同一難度は2回まで認める。

A難度のみで構成

跳馬に関しては2.4ポイントまでの跳躍技に限る。

その他については2009年版採点規則(変更I)に準拠する。

変更Iで認められている要素(平均台・床)は、構成要求として認められる

跳馬

器具

跳び箱、横向き、高さ±100cm

2回の跳躍を実施出来、その良いほうが有効点となる。
難度表にない技については次の通りとする。

台上前転	1.00
------	------

※ 実施減点は、5.00から減点

段違い平行棒

器具

高さ 高棒250cm 低棒170cm

- ①難度点 終末技も含め5要素以上、難度値は8要素まで数える。
- ② CR 全ての選手に2.5を与える
- ③短い演技 4要素以下の場合実施減点は下記から始まる
4要素 9.00～ 3要素 8.00～
2要素 7.00～ 1要素 6.00～
- ④注意点 逆上がり・フット下りは要素として認める

平均台

器具

高さ125cm 台下には20cmマット
着地には20cm、10cmマットを使用可
(2枚重ねても可)

- ①演技時間 1分30秒以内
- ②難度点 終末技も含め5要素以上、難度値は8要素まで数える。
- ③CR 1, 難度表にあるリープ・ジャンプ・ポップの要素を1つ
(伸身・かかえこみ可)
2, 片足上のターン(180度以上)
3, 側方のアクロバット系要素
4, 前方または後方のアクロバット系要素(前転・後転可)
5, 終末技(ダンスは不可)
難度表にある要素には0.5、
難度表にない要素には0.3を与える。

床

- ①演技時間 1分30秒以内
- ②難度点 終末技も含め5要素以上、難度値は8要素まで数える。
- ③CR 1, 前後開脚を伴う跳躍技
2, 片足上のターン(360度以上)
3, 前方/側方のアクロバット要素(ブリッチ・側転可)
4, 後方のアクロバット要素(ブリッチ可)
5, 最後のアクロバット要素
最後のアクロバット要素が
難度表にある要素であれば0.5、
難度表にない要素の実施には0.3、を与える。

7 級

府民大会規則を適用する。

6級より上の自由演技を狙う者

8 級

近畿ジュニア初級規則(近畿変更規則)を適用する。

近畿Jr初級出場予定者

9 級

日本体操協会2009年版採点規則(変更規則II-一部変更)を適用する。

近畿Jr中級出場予定者

10 級

日本体操協会2009年版採点規則(変更規則I)を適用する。

近畿Jr上級出場予定者または
全国大会を狙う者

- ☆☆ 選手の実力に応じたクラスにエントリーするよう要望する。
- ☆☆ 本ルールは2009年4月1日から実施する。
- ☆☆ 8級以上の上位者は海外派遣の対象となる。
- ☆☆ 本年度の海外派遣については協議中である。

このルールは2009年4月1日から適用し、京都ジュニアカップの主催する大会でのみ適用とする。